

ネットワーク型園芸拠点を活用しネギ生産拡大へ！

JAこまちが推進しているネギのネットワーク型園芸拠点整備事業(H29~H30)において、湯沢地区と駒形地区の作付が始まりました。
 団地形成による機械化、生産体制の省力化、効率化をすすめ生産拡大を目指しています。
 新広域集出荷所の建設、トマトのネットワーク型拠点整備事業(H30~H31)の計画も進行しています。



湯沢地区 トラクターで苗を配布しながら基肥施肥と畝形成を同時に行い、効率的な定植作業。



駒形地区 作業の機械化と合わせ団地内に作業所も建設し、収穫から出荷作業の効率化を図る。